

# 図書館等複合施設検討委員会だより vol.1

2022.6.10 白馬村教育委員会事務局

図書館等複合施設の基本計画見直しにあたり、「白馬村図書館等複合施設検討委員会」を設置して多様な視点からの意見を伺いながら検討を進めています。  
形式張った会議で機能や規模などを決めていくのではなく、グループに分かれて、居場所や交流拠点としての役割を果たすために、どのような空間が必要かといったことを対話しています。

## 白馬村図書館等複合施設検討委員会 委員名簿

◎委員長 ○副委員長 (敬称略)

◎ 富山 正明	白馬村社会教育委員長・図書館協議会長	中尾 美琴	白馬中学生
○ 平賀 研也	前県立長野図書館長	田中 悠李	白馬中学生
前堀 美緒	しろうま保育園前保護者会長	宮澤 一生	白馬高校生
山本 拓真	白馬北小学校 PTA 会長	石崎 椋太	白馬高校生
吉沢 一夫	白馬南小学校長	北澤 麻希	公募委員
岩井 良三	白馬村民生児童委員協議会 主任児童委員	福島 のり子	公募委員
藤川 公代	白馬村社会福祉協議会	川坂 保宏	公募委員
ワード・エミリー	Hakuba International Business Association	山口 聡一郎	公募委員

## 第1回検討委員会 (2022.3.31)

初めにこれまでの検討経過を簡単に振り返り、図書館と子育て支援施設を複合化し、村の基本理念である「多様であることから交流し学びあい成長する村」を具現化するような施設としたい旨を説明しました。その後、どういった「交流」があれば自分の暮らしや地域の未来が豊かになるか、グループに分かれて対話をしました。



## 第2回検討委員会 (2022.5.24)

初めに事務局から官民連携といわれる手法やその事例などを説明し、白馬村の複合施設でも実現し得るのか、どのようなあり方を目指すべきかという調査を今年度実施する旨を説明しました。その後、白馬村ではどのような人が居場所や体験・機会を求めているか、グループに分かれて対話しました。



## 交流に関する対話の内容

どんな人たちと？

- ・友人、知人、同世代
- ・普段関わらない人、他世代
  - ・話が合う人、共通の趣味を持つ人
  - ・得意なことを教えてくれる人
  - ・環境問題を一緒に考えたい
  - ・海外から来た人、白馬を訪れる人

どんな内容で？

- ・おしゃべり
- ・遊び（カードゲーム・ボードゲーム）
- ・学び（読書、勉強、言語・文化、調べる、聴く）
- ・体験・五感（ワークショップ・ものづくり・芸術文化）
- ・伝言板をきっかけに

どんな場所で？

- ・自然に囲まれて（アウトドア）
- ・開放的で山が見える
- ・広くて賑やかで自由に遊べる
- ・ゆっくり過ごせる
- ・みんなが集まりやすい

何のために？

- ・自分の成長や子どもたちの未来のため
- ・暮らしの価値を高めるため
- ・知識や想いを共有するため
- ・楽しい時間を過ごすため
- ・安心できる居場所として
- ・目的はなくていい

## 居場所に関する対話の内容

- ・子どもたちが放課後や休日に気兼ねなく過ごせる
- ・不登校の子どもが平日の日中に居られる
- ・誰でも目的なく一日中居ても良い
- ・雨の日に子どもも大人も観光客も退屈しない
- ・屋内と屋外が連動した心地良い空間
- ・誰もが気軽に趣味を楽しんだり発信したりできる
- ・子どもも高齢者も楽しめる・活躍できる
- ・リモートワークができてビジネスにもつながる
- ・知識・情報・人・楽しいことに出会える
- ・雑談の感覚で日頃の悩みを相談できる



## 第1回・第2回を終えて...

特定の目的でのみ利用する空間や設備をあれもこれも用意するのではなく、多目的・多用途に使用して各々が思い思いに過ごせる屋内外の開かれた空間を設けることで、みんなが訪れて心地よく過ごしたり、これまでにない交流が生まれていくことが期待されます。

## 今後の検討委員会の進め方

建設地や住民参加のあり方などについても対話を重ね、基本計画の見直し内容に反映していきます。

お問い合わせ：白馬村教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

TEL：0261-85-0726 / FAX：0261-85-0723 / E-mail：gakushu@vill.hakuba.lg.jp